

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第1区分
 【発行日】令和6年6月4日(2024.6.4)

【国際公開番号】WO2024/004828
 【出願番号】特願2024-515429(P2024-515429)

【国際特許分類】

B 0 1 D 19/00(2006.01)

B 0 1 D 61/00(2006.01)

【F I】

B 0 1 D 19/00 H

B 0 1 D 61/00

10

【手続補正書】

【提出日】令和6年3月8日(2024.3.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

流体流通空間と減圧空間との間を仕切るガス透過性を有するチューブユニットを有する脱気モジュールと、

前記脱気モジュールに接続されて前記脱気モジュールの前記減圧空間に連通される吸引管部と、外部に開放された出口が形成された排出管部と、を有する真空配管と、

前記吸引管部及び前記排出管部に接続されて前記吸引管部から前記排出管部に気体を送り出すように構成された排出装置と、

底板及び前記底板に立設された前板を有し、前記底板の上方かつ前記前板の後方に前記排出装置を搭載するハウジングと、

30

前記排出管部の前記出口から排出された液体を収容するための液体収容空間を有する容器と、を備え、

前記排出管部は、前記前板の後方に位置して前記排出管部に接続される内側排出管部と、前記前板の前方に位置して前記出口が形成される外側排出管部と、を有する、

脱気装置。

【請求項2】

前記排出装置の作動及び作動の停止を制御する制御部を更に備え、

前記ハウジングは、前記底板の上方かつ前記前板の後方に前記制御部を搭載する、請求項1に記載の脱気装置。

【請求項3】

40

前記外側排出管部及び前記容器の少なくとも一部は、外部から内部を視認可能な透光性を有する、

請求項1又は2に記載の脱気装置。

【請求項4】

前記容器は、外部から内部を視認可能な透光性を有する、

請求項1又は2に記載の脱気装置。

【請求項5】

前記外側排出管部は、前記内側排出管部から連続する基管部と、前記基管部に接続され前記出口を形成し外部から内部を視認可能な透光性を有する透光管部と、を有する、

請求項1又は2に記載の脱気装置。

50

【請求項 6】

前記容器は、前記液体収容空間を上方に開放する開口を有し、
前記容器の前記開口は、前記排出管部の前記出口の下方に配置されている、
請求項 1 又は 2 に記載の脱気装置。

【請求項 7】

前記容器は、前記開口から上方に向かって漏斗状に広がる集液部を有する、
請求項 6 に記載の脱気装置。

【請求項 8】

前記容器は、前記液体収容空間を外部に開放する開口を有し、
前記外側排出管部は、前記開口から前記液体収容空間に挿入されている、
請求項 1 又は 2 に記載の脱気装置。

10

【請求項 9】

前記真空配管の少なくとも一部は、ポリオレフィン及びスチレン系熱可塑性エラストマーを含む樹脂組成物である、
請求項 1 又は 2 に記載の脱気装置。

20

30

40

50